



No.333
2022年1月14日

江東区労連東 ニュース

江東区労働組合総連合
〒135-0011 江東区扇橋 1-12-20
江東教育会館内
Tel.03-5606-5285 Fax03-3649-0131

2022年 仲間を増やそう！ 憲法9条守り 雇用・暮らそう 守る年にしよう！



【地域労組こうとう発】地域労組こうとうは昨年12月4日、第13回定期大会を開催しました。コロナ禍の中で300名近い組合員になりました。この2年間、ほとんど、組合員の交流ができない中で組合員37名・来賓など11名合計48名が参加しました。新野執行委員長は開会のあいさつで「この間の物価引上げは実質賃下げになる。全国一律最賃1500円の早期達成が必要だ。」と述べました。2020年度活動総括・決算・会計監査報告、2021年度運動方針案予算案が提案されたのち、討論に入り2名が発言しました。

輸入食材の卸の会社に就職したばかりのHさんは上司から人格否定の暴言をあげられ、体調を崩して休職せざるを得なくなり組合に加入して闘っている報告。本所白百合幼稚園の園長だったIさんは3回更新しながら、理事長の理不尽な嫌がらせを受けて雇止めされ、本訴で闘う決意が述べられました。

大会は全体の拍手で運動方針案と予算案を採択し、21年度新役員を選出、最後に新野委員長の団結がんばろうで閉会となりました。

その後、久々に懇親会を開催、お弁当とビール（お茶も）を飲みながら感染対策をとりながらの交流を行いました。

大会議長は向田真理さんでした。お疲れさまでした。

大会来賓はCU東京・高木書記長、CU江戸川・高梨委員長、江東区労連・佐藤副議長、東京東部法律事務所・西田弁護士、日本共産党・あぜ上都議、日本共産党・大つき区議、江東総合法律事務所・中村弁護士。（新役員は次号）

憲法9条まもり、労働者・国民の暮らし・雇用を守ろう！
ひとりひとりの困難によりそい、非正規労働者を仲間を迎えよう

江東区労連議長 花岡康雄

江東区労連のすべての加盟組合と組合員の仲間みなさん、2022年明けまでおめでとうございます。

私たちは2年にわたり、新型コロナウイルス感染拡大に振り回されました。後手後手に回ったコロナ対策や桜、森加計問題などで支持を失った菅政権も、岸田政権に代わることによって自公政権を温存させました。総選挙では残念ながら野党共闘が後退し、維新が増え改憲勢力が増えた結果、岸田政権は9条改憲に前のめりとなり、危険な政権であることが露呈しています。

2022年、コロナ感染拡大は変異株の拡大で、まだまだ先行きが見えない状況です。その中で私たち労働者・国民の暮らし・雇用は危機に瀕しています。OECD主要7か国の中で、20年間で賃金が低迷しているのは日本だけです。22国民春闘は低賃金の底上げ・最賃だれでも時給1500円以上を掲げ大きくとりくみましょう。

岸田政権はコロナ禍に乗じて憲法改悪を企んでいます。憲法9条改悪を許さず、沖縄の辺野古基地建設中止、憲法「改悪」よりも国民生活優先の政治を7月の参議院選挙でも、立憲野党の共同で実現しましょう。

地域労組こうとうの前進、多くの未組織労働者を迎え入れ、「ひとりぼっちの労働者をなくそう」のスローガンで江東区労連と加盟労組を大きく発展させましょう。

江東区労連青年部 第21回総会開催



青年部の総会(21/11/27)などのとりくみは2面に

結成20年!

江東区労連青年部第21回総会開催

労基署・ハローワーク等への要請も

【青年部発】江東区労連青年部はコロナ感染拡大の影響で延期していた第21回青年部総会を11月27日に江東区文化センターで開催、代議員・役員など13名が参加しました。総会は松丸副部長が開会を宣言、大会議長に日本機関紙印刷所労組の稲垣さん、選挙運営委員に地域労組こうとうの広瀬さんを選出し、議事に入りました。

青年部を代表してあいさつした松井青年部長は「長引くコロナの影響で今年度も計画していた交流企画を中止するなど活動が制約される中での1年だった、次年度も工夫が求められると思うがぜひ交流企画を行いたい」と述べました。続いて東京地評青年協・千保さん、全印総連東京地連青年部江田さん、江東区労連常任幹事の長谷川さんが来賓あいさつ。総会は20年度経過報告を常任委員の建吉さんが、21年度運動方針案を松井部長が提案

を行いました。質疑・討論に入りました。反対意見はなく、20年度経過報告と21年度運動方針案を一括して全体の拍手で承認。その後21年度青年部役員を選出、最後に新役員を代表して松井青年部長があいさつを行いました。



ハローワーク木場と懇談する江東区労連青年部の仲間 (21/12/8)

★青年部・ハローワーク・労基署等要請行動

江東区労連青年部は12月8日、ハローワーク木場・亀戸労働基準監督署・東京都労働相談情報センター亀戸事務所との要請懇談実施し、青年部役員など5名が参加しました。

ハローワーク木場では白砂管理部長ら3名が応対、参加した青年部員は「総務省が実施している労働力調査では、長期失業者、仕事を失った状態が1年以上続いている人が66万人にのぼっている、ハローワーク木場でも失業者対策の東京労働局に上

申してほしい」と要望しました。担当者は「今後、求職者支援制度の体制拡充をおこなっていく」と回答しました。続いて、亀戸労基署では諸藤副所長ら4名が応対。松井青年部長は昨年を引き続き「コロナの影響で、シフト制で働く労働者は労働日が確定していないなどの理由から手当が支払われていないケースが多くある」と指摘、「シフト制で働く労働者も救済されるよう労基法26条の抜本的な改正が必要」と要望しました。担当者は「ご要望は東京労働局に伝える」という回答に留めました。最後に東京都労働相談情報センター亀戸事務所では宮地所長ら4名が応対。コロナ禍での相談事例などについて懇談をしました。

江東区労連からのお知らせ

■第198回憲法9条守れ・9の日宣伝行動

- 日時…1月19日(水)
- 場所と時間
東陽町(7:30-)、東大島(17:30-)
西大島・木場・新木場・辰巳(8:00-)

■2022年度対区要求ヒアリング

- 日時…1月19日(水) ①9:30-、②10:50-
- 会場…江東区文化センター5階第6・第7会議室

■江東区労連第7次組織化宣伝行動

- 日時…1月27日(木)
- 場所と時間
東陽町(7:30-)、東大島(17:30-)
新木場・辰巳(8:00-)

■2022江東国民春闘発足・学習会

- 日時…2月18日(金) 18:30開会
- 会場…江東区文化センター第4・5研修室
- 講演…「コロナ禍をのりこえる22春闘を」
講師…布施恵輔さん(全労連国際局長)

労働相談の窓口から

江東区内には運送会社が多く存在します。運送会社は労働時間(長時間労働)にかかわる相談が寄せられます。

■長時間労働(行政機関、男性・正妻からの相談)

夫は江東区内でトラックの運転手をしている。2週間働き詰めの時もある。朝は午前2時から働き始め、夕方の午後4時頃まで休む間もなく運転している。毎日寝る時間は5時間くらい。毎日12時間以上週6日働いている。疲れ切っていて心配だ。

決したいと思いますが、労働者はどうしても無理したり、組合に加入したり労基署へ申告するのをためらう傾向があります。

■職場内全員に解雇予告(全労連ホットライン・正規女性)

江東区新砂にある大手の運送会社のコールセンターで働く。2月末で業務をすべて外部委託するので、全員(20名)を解雇したい、その後、委託会社に移籍してもらおう。ただし有期雇用に変更というもの。これも乱暴な解雇というもので、解雇は無効と言える中身です。この相談は全労連ホットラインで受けたもので、建交労都本部または江東区労連のユニオンを紹介しましたが、まだ相談には訪れてきていないようです。これこそ、労働組合を作って団体交渉を申し入れて解決できる中身。

11時間以上のインターバル規制や下請け単価の引き上げ等が求められます。

江東区労連2022年旗開き中止のお知らせ

今年もコロナ感染症の感染防止のため、旗開きは中止とさせていただきます。今後ともよろしくお願いたします。来年こそは楽しいイベントが復活できることを期待して。

時々、連れ合いの仕事の状態が不安だという相談があります。「夫が…」「息子が…」と連絡してきます。組合に加入して団交するためには本人の意志が必要です。労基署への申告は家族でも可能です。できれば過労死などという最悪の結果を生む前に解